

債務に関する計算書

平成12事業年度において、債務を負担することができる事項と事項毎の限度額は、人工衛星の開発に必要な経費 20,816,892,000円、宇宙環境利用の総合推進に必要な経費 23,791,434,000円、ロケットの開発に必要な経費 15,461,619,000円、ロケットの打上げ及び打上施設の整備に必要な経費 2,471,850,000円、追跡管制に必要な経費 2,982,269,000円、筑波宇宙センター施設の整備に必要な経費 686,950,000円、地球観測センター施設の整備に必要な経費 4,035,223,000円、情報収集衛星システム開発等受託に必要な経費 15,709,232,000円で、合計 85,955,469,000円である。

これらの限度額に対して債務を負担した金額は、人工衛星の開発に必要な経費 20,810,527,000円、宇宙環境利用の総合推進に必要な経費 23,778,696,275円、ロケットの開発に必要な経費 15,458,615,000円、ロケットの打上げ及び打上施設の整備に必要な経費 2,432,890,000円、追跡管制に必要な経費 2,979,946,100円、筑波宇宙センター施設の整備に必要な経費 685,844,000円、地球観測センター施設の整備に必要な経費 4,034,312,500円、情報収集衛星システム開発等受託に必要な経費 15,706,476,000円で、合計 85,887,306,875円である。

平成11事業年度末の債務の残額は、人工衛星の開発に必要な経費 42,797,210,050円、宇宙環境利用の総合推進に必要な経費 57,106,192,819円、ロケットの開発に必要な経費 21,419,163,150円、ロケットの打上げ及び打上施設の整備に必要な経費 11,183,584,179円、追跡管制に必要な経費 4,831,537,845円、筑波宇宙センター施設の整備に必要な経費 1,020,108,250円、地球観測センター施設の整備に必要な経費 8,802,190,500円、情報収集衛星システム開発等受託に必要な経費 90,608,700,000円、合計 237,768,686,793円であり、これに平成12事業年度に債務を負担した 85,887,306,875円を加えると債務の総額323,655,993,668円となり、これに対して平成12事業年度の債務消滅額は、125,777,766,797円であるから、平成12事業年度末の債務の残額は、197,878,226,871円である。

事 項	平成11事業年度末 の債務の残額	平成12事業年度 の債務負担額	平成12事業年度 の債務消滅額	平成12事業年度 末の債務の残額	支出を必要 とする年度
人工衛星の開発に 必要な経費	円 42,797,210,050	円 20,810,527,000	円 36,520,706,550	円 27,087,030,500	平成12,13,14 事業年度
宇宙環境利用の総合 推進に必要な経費	57,106,192,819	23,778,696,275	30,978,919,351	49,905,969,743	平成12,13,14,15 事業年度
ロケットの開発に 必要な経費	21,419,163,150	15,458,615,000	18,094,104,229	18,783,673,921	平成12,13,14 事業年度
ロケットの打上げ及び打 上施設の整備に必要な経 費	11,183,584,179	2,432,890,000	7,404,279,385	6,212,194,794	平成12,13 事業年度
追跡管制に必要な経費	4,831,537,845	2,979,946,100	4,729,233,978	3,082,249,967	平成12,13,14 事業年度
筑波宇宙センター施設 の整備に必要な経費	1,020,108,250	685,844,000	1,023,000,750	682,951,500	平成12,13 事業年度
地球観測センター施設 の整備に必要な経費	8,802,190,500	4,034,312,500	4,353,902,254	8,482,600,746	平成12,13 事業年度
情報収集衛星システム開発 等受託に必要な経費	90,608,700,000	15,706,476,000	22,673,620,300	83,641,555,700	平成12,13,14 事業年度
合 計	237,768,686,793	85,887,306,875	125,777,766,797	197,878,226,871	